第7回

ふれあいポスター展

作　品　集

JA広島総合病院
JA. HIROSHIMA General Hospital

平成28年度

第７回ふれあいポスター展に寄せて

病院長　藤本　吉範

平成28年11月７日から12月29日、第７回ふれあいポスター展が開催されました。

毎年恒例となっておりますが、今年は昨年の37作品から51作品へと14作品も多くのエントリーがありました。当院のアカデミックな一面を地域の皆様に印象付けることができたのではないでしょうか。所狭しと展示されたポスターから各部署の業務内容を熱く、また、わかりやすく届けることができたと感じております。

出展されたポスターは、厳正な審査を行った結果、臨床研究検査科の「ようこそ検査室ワールドへPart6 ～からだを巡る真赤激～」が最優秀賞に選ばれました。昨年、快進撃の末、25年ぶりのリーグ優勝を果した広島カープとマツダスタジアムをモチーフに、身体に流れる血液のことをわかりやすく伝えています。

優秀賞は、医局部門は小児科の「小児科あるある探検隊！」赤ちゃんのおむつかぶれ等の対処方法をマンガ風に指導しています。看護部門は内視鏡センターの「内視鏡センターへイッテQ!! 飲んじゃった！どうしよう!? 消化管異物編」、ピアスやペンダントが食道に引っかかったレントゲン写真や胃カメラの影像はインパクトのある作品となっています。コメディカル部門は栄養科の「食物繊維でちょう健康♪」と言うタイトルで「超」と「腸」を掛け合わせテンポよく読み終えることができるポスターとなっており、日ごろよく耳にする食物繊維を詳しく解説しています。最後にチーム活動部門は、「減災への道 PartⅣ －ミッション完了！DMAT＆災害対策ワーキングチーム－」、当院のDMAT隊の活動を写真を使って報告しており、これからの活躍も期待させるポスターとなっています。

11月23日に開催されたオープンホスピタルは多くの地域の皆様に来院いただき、「これは！」と感じたポスターに投票をお願いしました。結果、最多得票作品は「内視鏡センターへイッテQ!! 飲んじゃった！どうしよう!? 消化管異物編」となり、看護部門での優秀賞に続きW受賞となりました。実際に鉗子を使ってペットボトル内の電池等を掴み取る体験型のポスターが興味深くできており、地域の皆様に評価されたのではと思っています。

今後も住民目線に立ったポスター作りを進歩させ、地域の皆様に支えられる身近な病院として、病院のことを知っていただく努力を続けていきたいと思います。

◆最優秀賞

部　　署	作　　品　　名
臨床研究検査科	ようこそ検査室ワールドへ Part 6 ～からだを巡る真赤激～

◆優 秀 賞

部　　門	部　　署	作　　品　　名
医　局　部　門	小児科	小児科あるある探検隊！
看　護　部　門	内視鏡センター	内視鏡センターへイッテQ!! 飲んじゃった！どうしよう!? 消化管異物編
コメディカル部門	栄養科	食物繊維でちょう健康♪
チーム活動部門	災害対策ワーキングチーム	減災への道　PartⅣ －ミッション完了! DMAT ＆ 災害対策ワーキングチーム－
住民投票部門	内視鏡センター	内視鏡センターへイッテQ!! 飲んじゃった！どうしよう!? 消化管異物編

◆応募総数：51作品

◆期　　間：11月７日(月)～12月29日(木)

看護の未来を創る!!－集まれ！ステキな看護の仲間たち－

看護部長室

看護部のキャッチフレーズ“ハートフルナーシング”より看護部長が愛を降りそそぎ、未来につながる看護の人材確保・定着に取組んでいる構図を描きました。

細胞診検査とは「細胞検査士って何？」

病理研究検査科

遺伝子診断が発達しても、癌の診断は顕微鏡による形態学により最終診断がされます。細胞に現れる形態変化を察知して判断を下す専門職として、細胞検査士と病理医が協力して医療の現場を支えています。

当院における前立腺癌の現況

泌尿器科

2015年より男性の癌羅患率は前立腺癌が最多となりました。前立腺癌は血液検査で簡便に調べることが可能となっています。今回のポスターで、前立腺癌の早期発見につながればと思います。

緩和ケアチーム

4 つなぎあい、ささえあい
緩和ケアチーム

「緩和ケア」は、
がん治療の初期段階から、がん治療と一緒に受けるケアです。

日本人では生涯に2人に1人がかかる病気といわれる「がん」。
「がんとともに生きる」人が増えています。
緩和ケアチームは「がんとともに生きる」ことを考えます。

緩和ケアってなに？
がんによる身体やこころの苦痛を和らげ、自分らしく過ごしていただけるよう支えていくケアのことです。

緩和ケアチームってなに？
様々な職種の専門スタッフで構成されたチームです。
患者さんとご家族にとってできる限りの最高のQOL（人生の質、生活の質）の実現を一緒に考えます。

患者さんがチームの主役です。大事な思いをお聞かせください。

生活の質ってたとえば？？

こんな質問票を使って、一緒に考えています。

生活のしやすさに関する質問票

記入日　年　月　日
氏名

この一週間で、以下の症状はどの程度でしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

		全くない	少し	ときどき	強い	かなり強い
身体	痛み	0	1	2	3	4
	しびれ	0	1	2	3	4
	ねむけ	0	1	2	3	4
	だるさ	0	1	2	3	4
	息苦しさ	0	1	2	3	4
	食欲不振	0	1	2	3	4
	吐き気	0	1	2	3	4
	便秘	0	1	2	3	4
	その他（　）	0	1	2	3	4
心の苦しさ	落ちこんだ	0	1	2	3	4
	気持ちのつらさ	0	1	2	3	4

2 いまのなかで、心配なこと・相談したいことがあれば、□に ✓ をつけてください。
□病状や治療
□仕事
□経済・家族
□介護・在宅サービス
□日常生活
□家族
□その他（　）

3 当院には、体やこころの「つらさ」を和らげることを専門とした緩和ケアチームがあります。相談を希望されますか？
□希望する
□希望しない

3 当院には、体やこころの「つらさ」を和らげることを専門とした緩和ケアチームがあります。相談を希望されますか？
□希望する
□希望しない

「緩和ケアチームを希望する」とお伝えください。

緩和ケアチームは、患者さんとご家族の悩みや不安について、一緒に考え、納得できる選択をするためにお話伺いたいと思っています。

こんな症状が辛いなあ。今まで通り生活していて平気かな？

できる限り自宅で過ごしたいんだけど、どうしたらいい？

薬の飲み方、こんなときはどうしたらよいの？

家から通いながら治療もできるかな。

トイレへは歩いて行きたいの。

家で急に体調が悪くなったらどうしよう。

家族にはどう伝えたら良いかな。自分からは伝えづらい・・・黙っていた方がいいのかな・・

お金や保険のことが心配。

◆緩和ケアチームスタッフ◆
消化器内科医・放射線科医・呼吸器内科医・外科医・精神科医
緩和薬物療法認定薬剤師
緩和ケア認定看護師・がん放射線療法看護認定看護師・がん化学療法看護認定看護師・病棟科長
理学療法士・言語聴覚士・管理栄養士・がん相談員・社会福祉士・臨床心理士　等

緩和ケアチームを構成している職種や、具体的にどのようなことに対応しているかを紹介することで、患者さんやご家族の方が一人で悩まずに相談しやすく感じて頂けるよう、メッセージや似顔絵を工夫して作成しました。

失語症って知っていますか？

リハビリテーション科

失語症はあまり多くの方には知られていない言語障害です。少しでも多くの方に知って頂ければと思い、作成しました。

西Going ～みんなであなたの入院から退院まで支えます!! ～

西5階病棟

日々忙しい中でも笑顔で頑張るスタッフの素敵な笑顔を撮りました。西５の皆をもっと患者様に知ってもらいたくてテーマにしました。皆さんカメラを向けるとニッコリ笑ってくれ、楽しくポスターを作成することができました。

みんなで子育てまご育て　～今と昔の子育てのちがい～

西4階病棟

西４階病棟は、産婦人科のため多くの妊産褥婦さんと関わる機会があります。その際に、育児で祖父母とのギャップに悩まれている話を聞き少しでもギャップをなくしたいと思いとりあげました。

急性期脳梗塞治療の流れ

脳神経外科

急性期脳梗塞治療は時間との闘いである。本ポスターは、脳梗塞治療について理解を深め、脳梗塞発症後、早期に来院する事の重要性を伝えることを目的に作成した。

側弯症の外科的治療

整形外科

側弯症の診断から治療に関して、わかりやすくポスターを作成しました。文字を少なくし、写真やイラストを用い、一目でわかる様に作成する様努力しました。

ようこそ検査室ワールドへ Part6 ～からだを巡る真赤激～

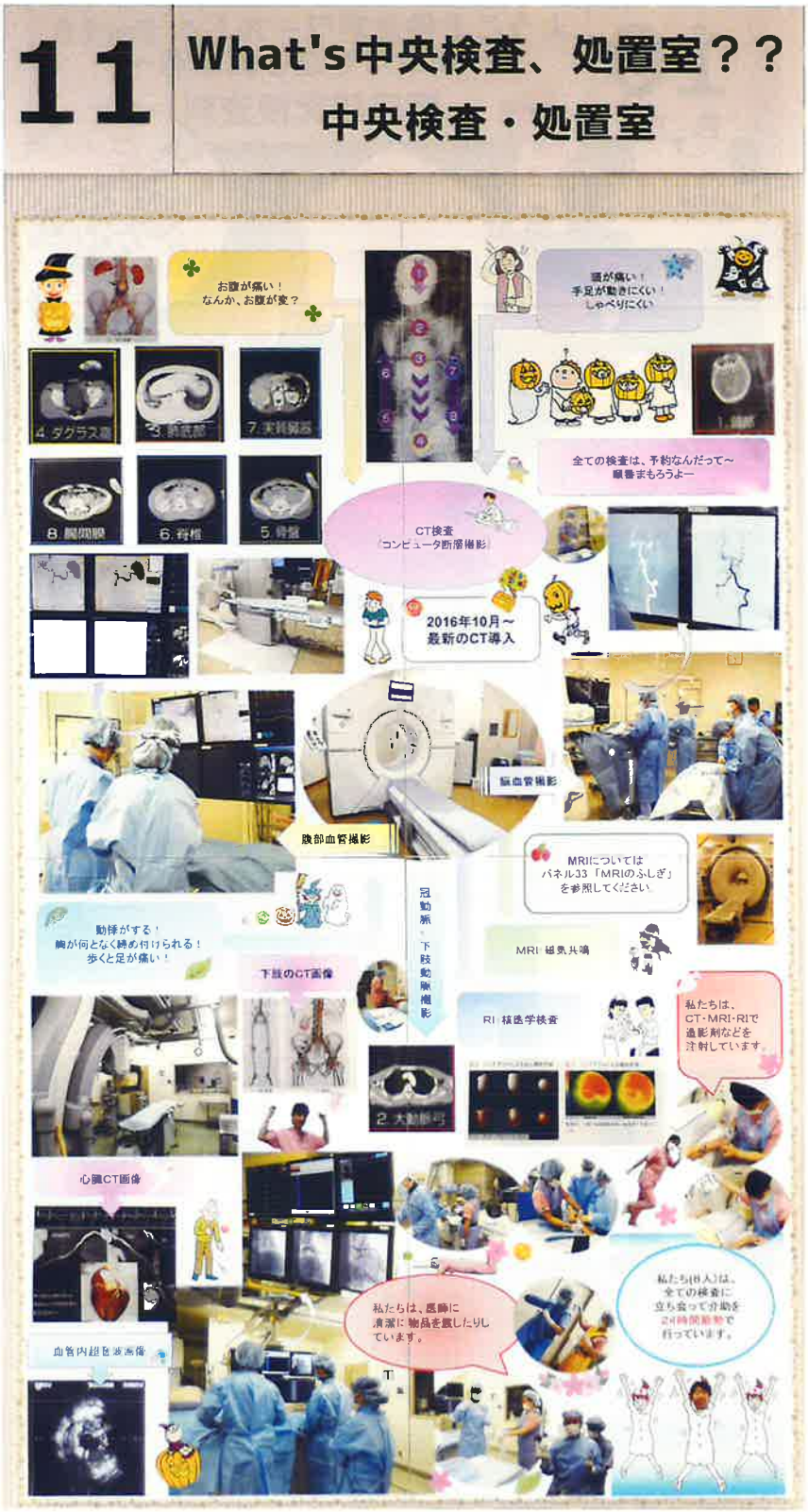
最優秀賞

臨床研究検査科

私達の体の中で繰り広げられている血液のドラマを、今年劇的な野球ドラマを見せてくれたカープとコラボさせてもらい表現しました。当科の若者達の知恵と汗の結晶です。ありがとうございました。

What's 中央検査、処置室??

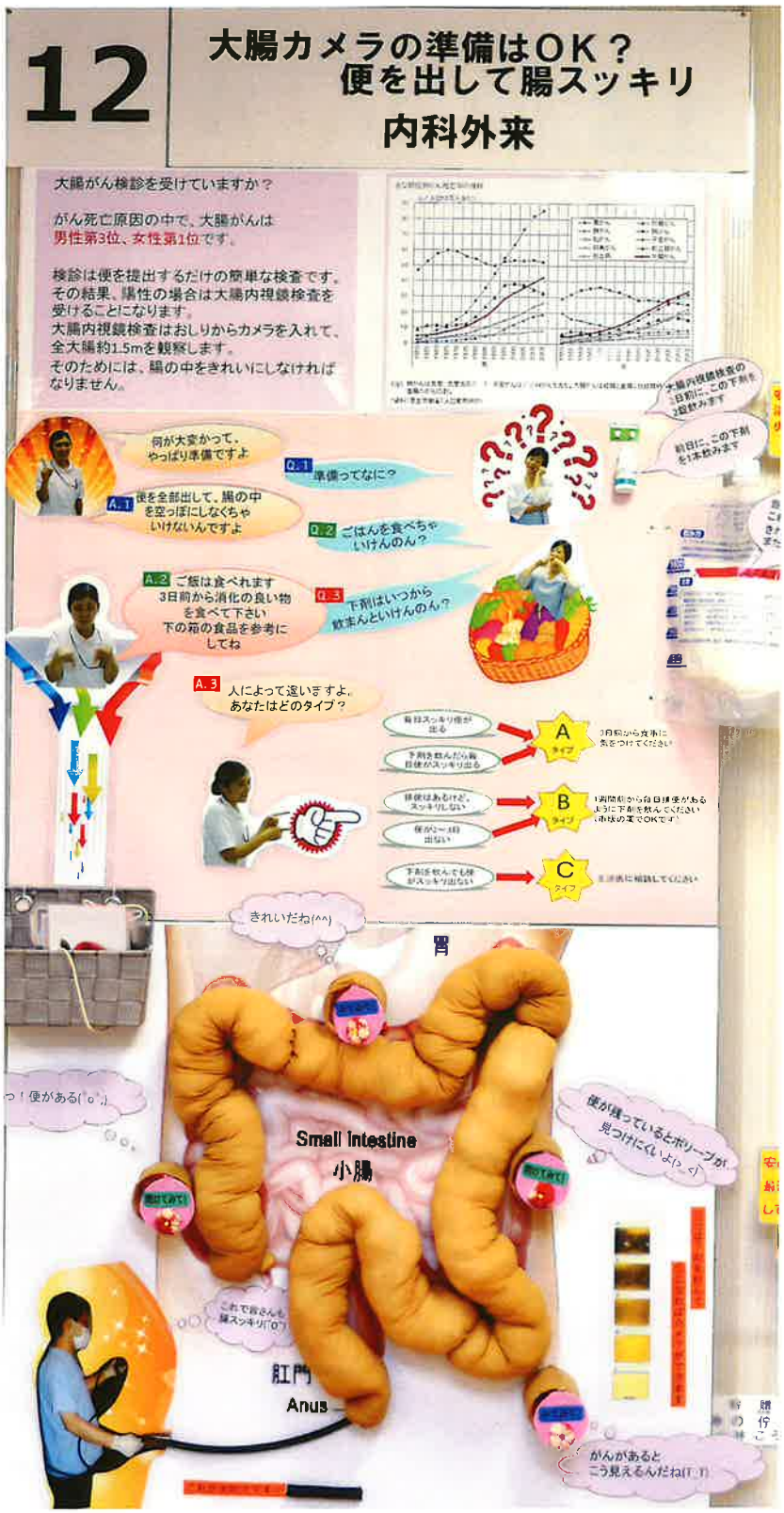
中央検査・処置室



平成27年４月、新しく中央検査処置室という部門が立ちあがりました。患者の安心・安全に配慮しながら24時間体制で検査介助を行っています。部門の紹介をわかりやすく、ポスターで伝えることができたと思います。

大腸カメラの準備はOK?便を出して腸スッキリ

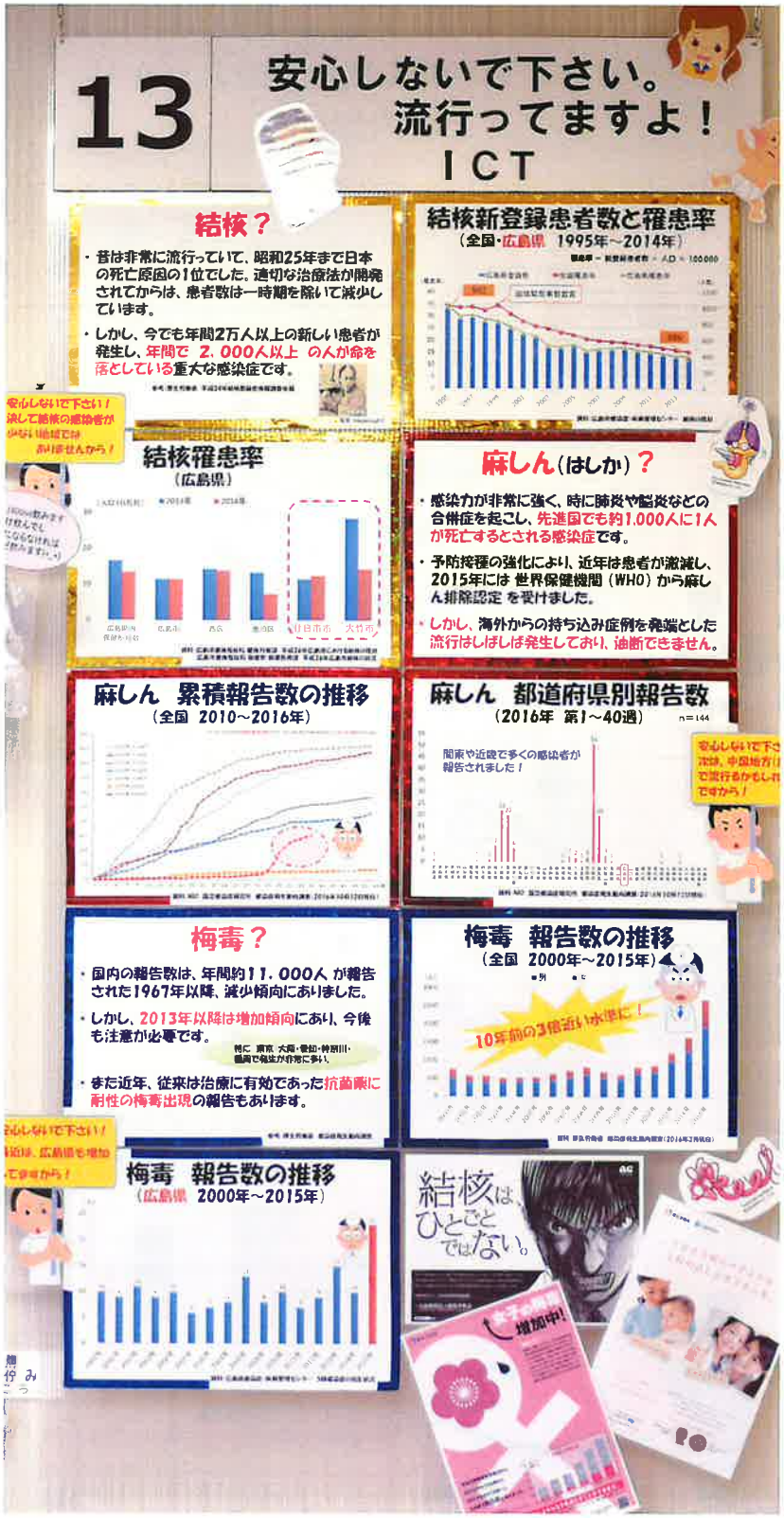
内科外来



大腸癌検診の二次検診は大腸内視鏡検査となります。多くの方に大腸内視鏡検査の概要を知ってもらいたく作成しました。前処置の重要性として食事にポイントを置くことにより前処置を見直す事ができ良かったです。

安心しないで下さい。流行ってますよ！

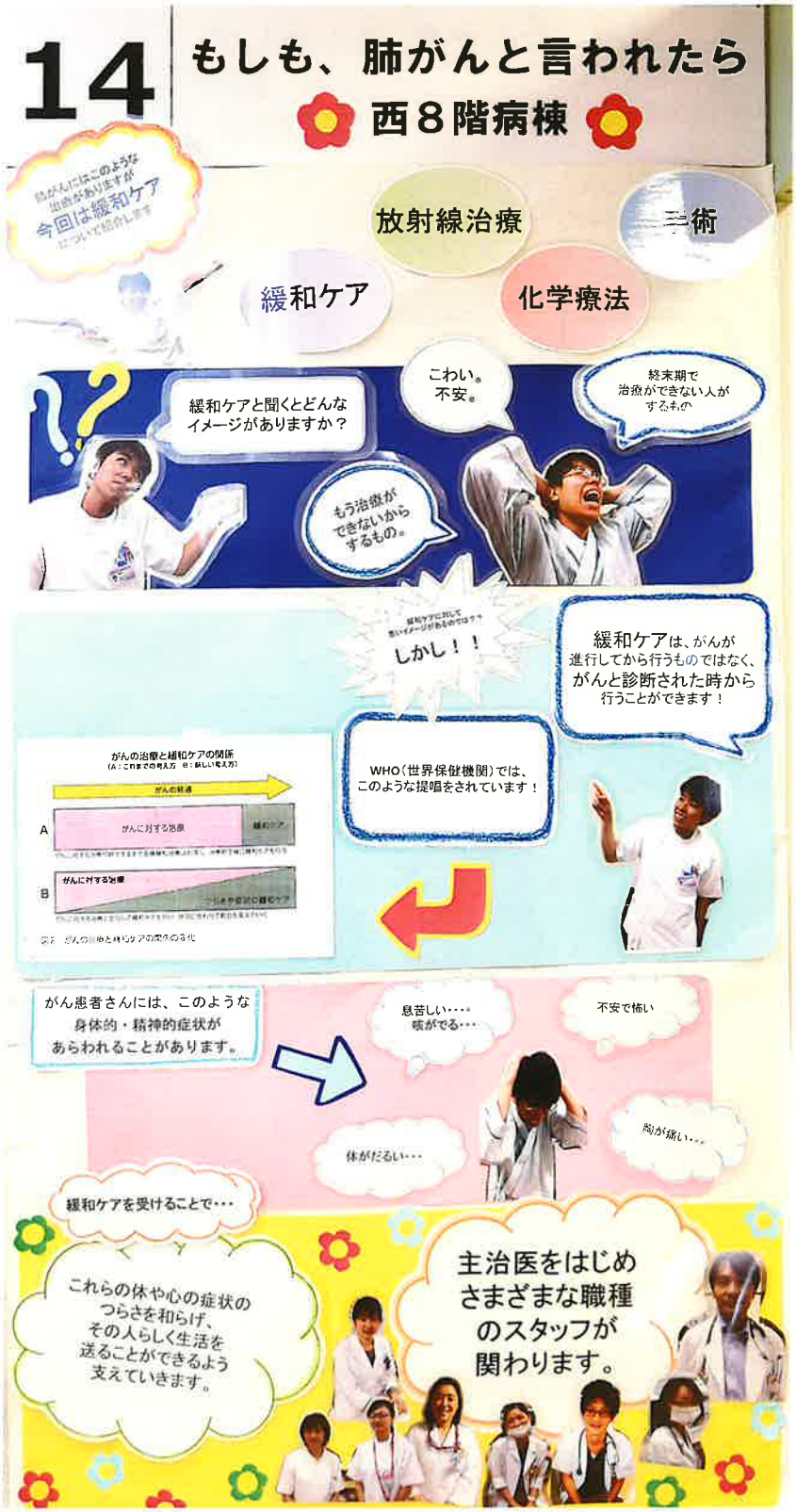
ＩＣＴ



結核や梅毒など、日頃は皆さんが気にしていない感染症が、実は意外と発生している事を知ってもらう事を目指しました。作成に費やす時間的余裕がなく、単純なポスターになってしまったことは非常に残念でした。

もしも、肺がんと言われたら

西8階病棟



ポスター展を通して伝えたかったことは、全てのがん患者さんが対象となり、がん告知があった時から苦痛や不安の緩和を行うものだということです。ポスターを見て、一人でも多くの人に緩和ケアを知ってもらいたいです。

なんか変…もしかして…脳梗塞!?

東5階病棟

見ている人に分かりやすい様に写真で表現したり、ポイントを目立たせたりと工夫しました。
今回、同期メンバーで力を合わせて作成し、とても楽しくできました！

これで安心！子どもの点滴固定法！

東4階病棟

このポスター作成で伝えたかったことは、小児科の点滴漏れをどのように防いでいるのかです。
少しでも、東４階で小児科の点滴漏れを減少するために工夫していることが伝われば幸いです。

ストーマってなんですか？

西6階病棟

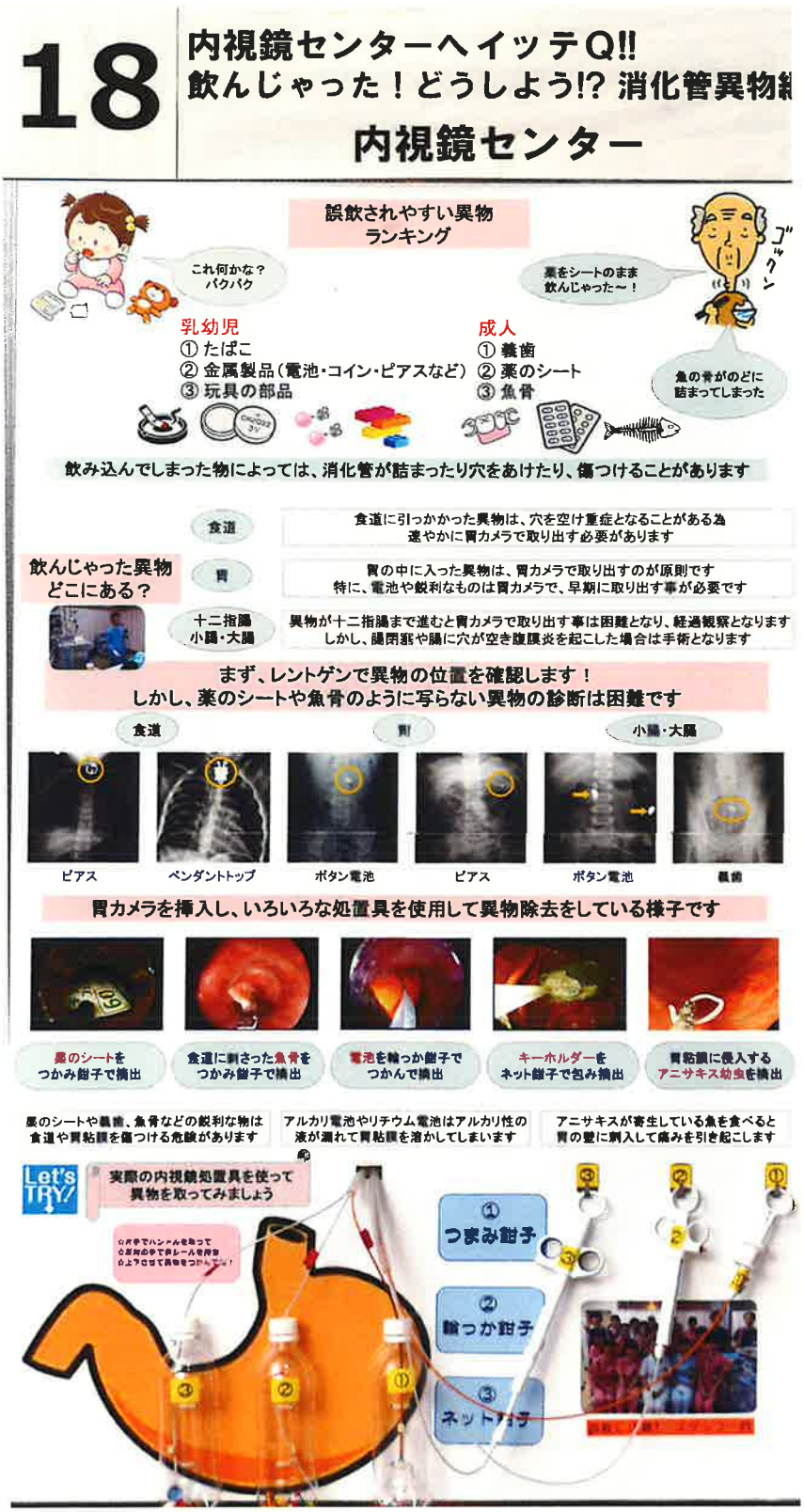
一度でも視界に入れてもらおうとLINEアプリ風にし、簡潔にまとめました。患者さんの立場になって知りたいことは何か、考えるいい機会をいただきました。ストーマについて今後も多くの方に知ってもらいたいです。

内視鏡センターへイッテQ!! 飲んじゃった! どうしよう!? 消化管異物編

看護部門 優秀賞

住民投票部門 優秀賞

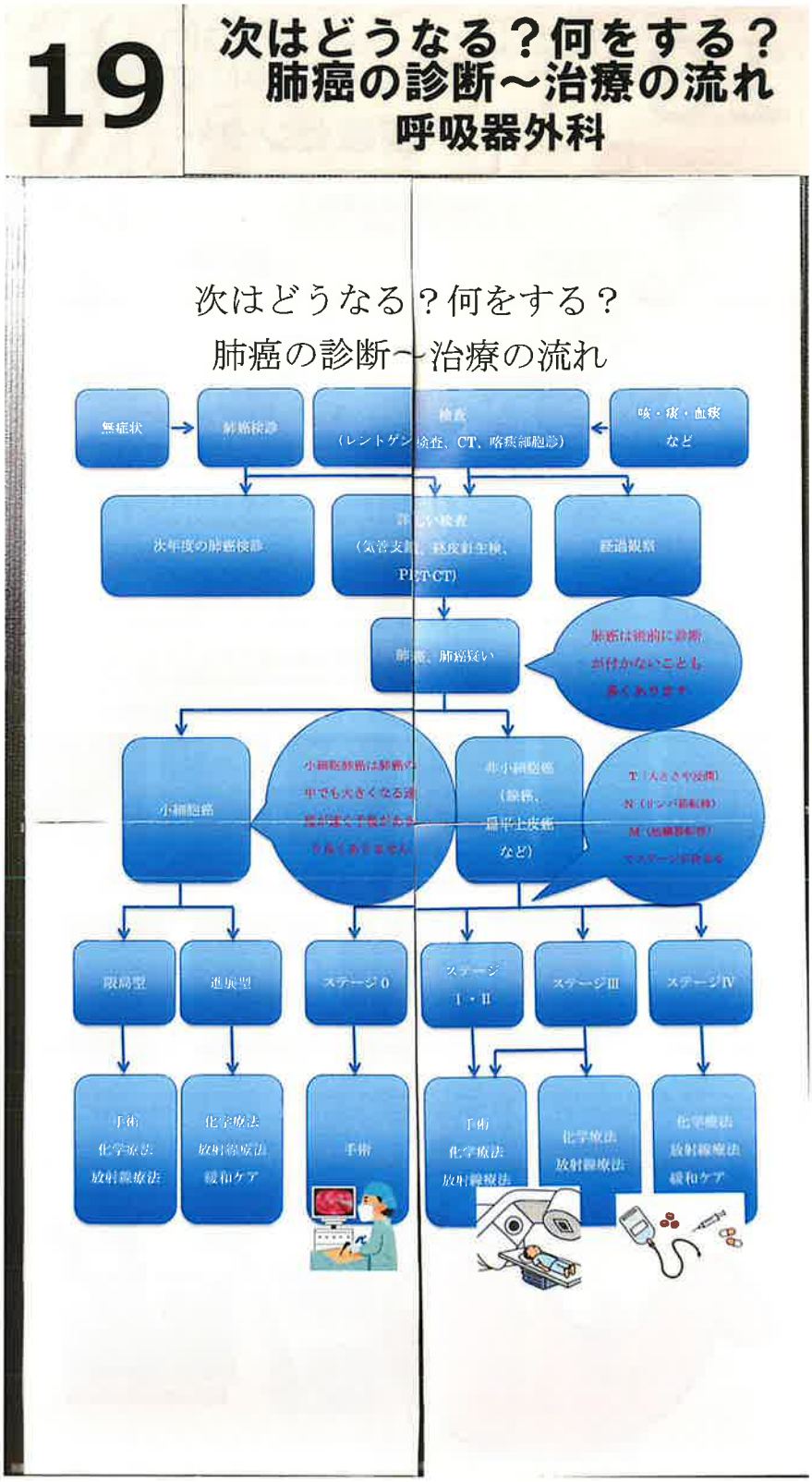
内視鏡センター



「見て触れて理解する」を目標とし異物誤飲に焦点をあてた注意喚起のポスターです。解りやすい画像や表現に留意し、模擬では長い鉗子を抵抗なく操作できる工夫を行い、楽しく触れ、安全性にも考慮して作成しました。

次はどうなる？何をする？肺癌の診断～治療の流れ～

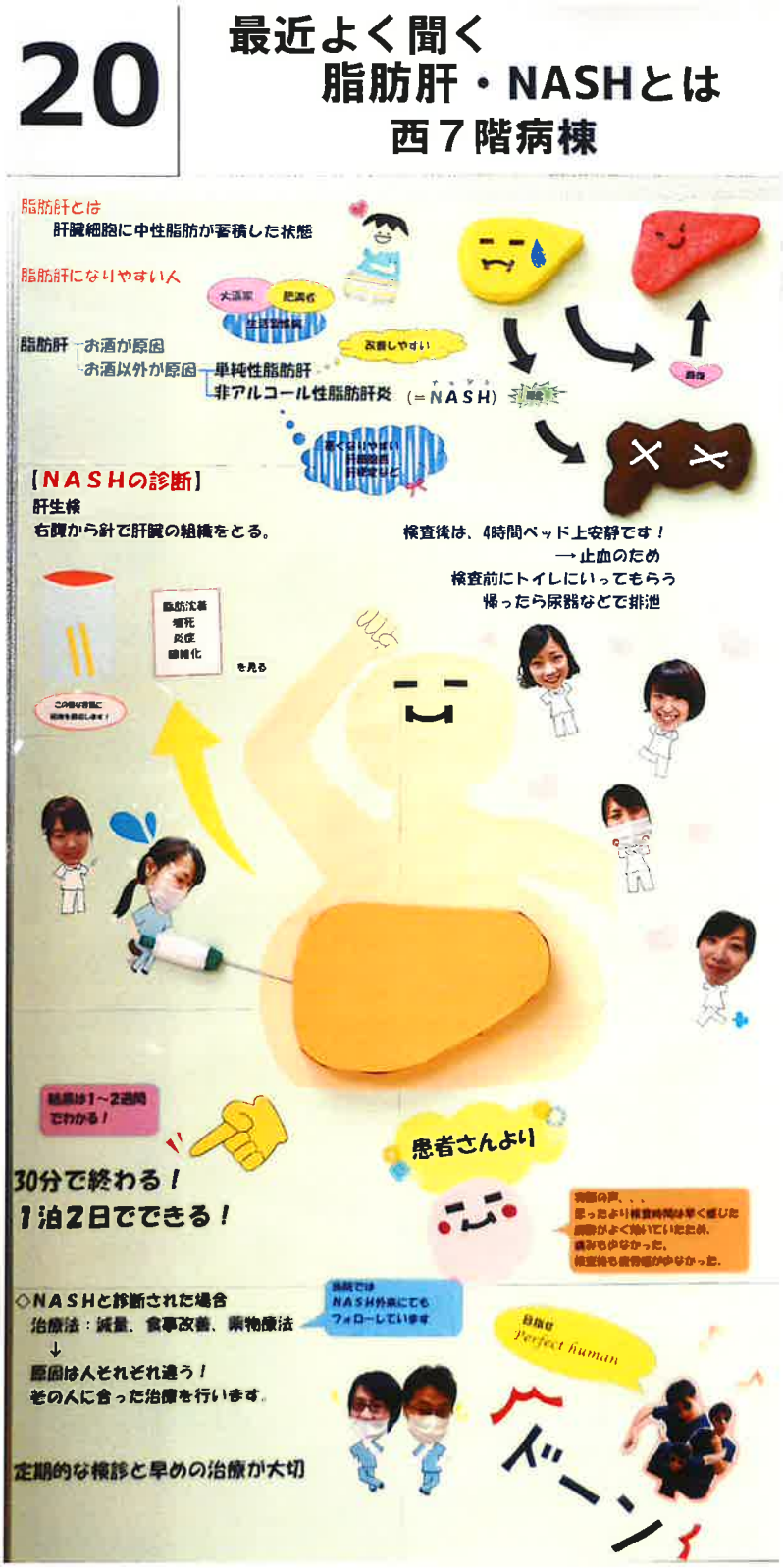
呼吸器外科



肺癌の診断からステージの決定、治療の選択までを図にすることで、患者さん自身に自分が今、どの段階にいて、次はどのようなことになるのかを分かりやすく知っていただきたかったです。

最近よく聞く脂肪肝・NASHとは

西7階病棟



最近、増加傾向にある生活習慣病について、少しでも理解を深めてもらい、生活習慣病が思わぬ病気を引き起こす可能性があることを伝えたいと思い、ポスターを作成しました。

元気になっておうちに帰ろう

地域医療連携室

かかりつけ医とＪＡの連携を表現しました。体調が悪くなったときに、どうするべきか。入院や退院したらどうなるか。藤田寿賀衛門を例に分かりやすく道のりを作ってみました。

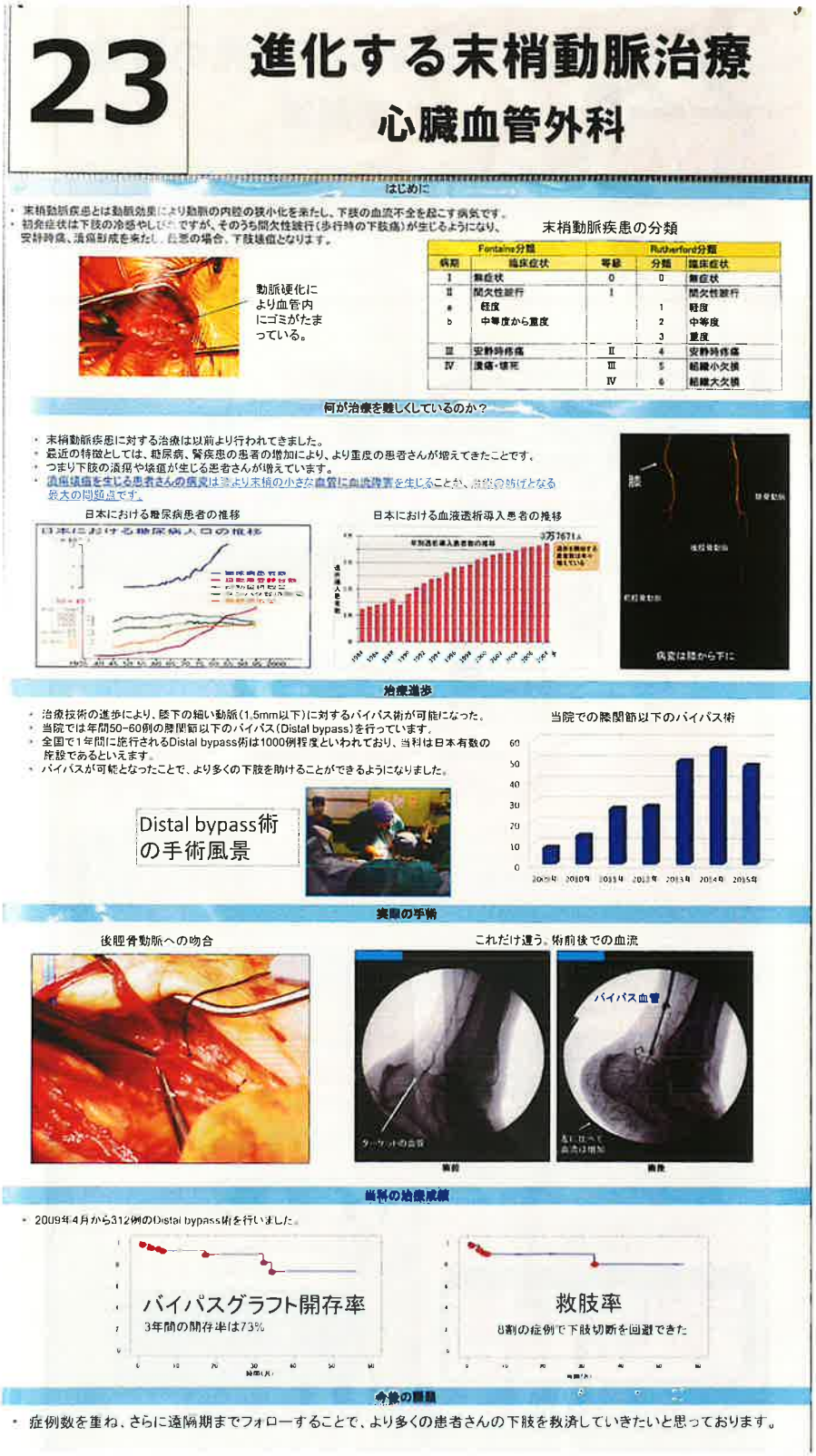
知ってますか？小児の誤飲

薬剤部

小児の誤飲事故の原因が、2013年度に医薬品・医薬部外品が１位になりました。保護者が小児の誤飲に対する危機意識を持つことで事故の減少につながると思い作成しました。

進化する末梢動脈治療

心臓血管外科



23

進化する末梢動脈治療

心臓血管外科

はじめに

- 末梢動脈疾患とは動脈硬化により動脈の内腔の狭小化を来たし、下肢の血流不全を起こす病気です。
- 初発症状は下肢の冷感やしびれですが、そのうち間欠性跛行（歩行時の下肢痛）が生じるようになり、安静時痛、潰瘍形成を来たし、最悪の場合、下肢壊疽となります。

動脈硬化により血管内にゴミがたまっている。

末梢動脈疾患の分類

Fontaine分類		Rutherford分類		
病期	臨床症状	等級	分類	臨床症状
I	無症状	0	0	無症状
II	間欠性跛行	I		間欠性跛行
a	軽度		1	軽度
b	中等度から重度		2	中等度
			3	重度
III	安静時疼痛	II	4	安静時疼痛
IV	潰瘍・壊死	III	5	組織小欠損
		IV	6	組織大欠損

何が治療を難しくしているのか？

- 末梢動脈疾患に対する治療は以前より行われてきました。
- 最近の特徴としては、糖尿病、腎疾患の患者の増加により、より重度の患者さんが増えてきたことです。
- つまり下肢の潰瘍や壊疽が生じる患者さんが増えています。
- 潰瘍壊疽を生じる患者さんの病変は多くは末梢の小さな血管に血流障害を生じることから、治療の妨げとなる最大の問題点です。

日本における糖尿病患者の推移

日本における血液透析導入患者の推移

膝

病変は膝から下に

治療進歩

- 治療技術の進歩により、膝下の細い動脈（1.5mm以下）に対するバイパス術が可能になった。
- 当院では年間50~60例の膝関節以下のバイパス（Distal bypass）を行っています。
- 全国で1年間に施行されるDistal bypass術は1000例程度といわれており、当科は日本有数の施設であるといえます。
- バイパスが可能となったことで、より多くの下肢を助けることができるようになりました。

Distal bypass術の手術風景

当院での膝関節以下のバイパス術

実際の手術

後脛骨動脈への吻合

これだけ違う。術前後での血流

バイパス血管

術前

術後

当科の治療成績

- 2009年4月から312例のDistal bypass術を行いました。

バイパスグラフト開存率

3年間の開存率は73%

救肢率

8割の症例で下肢切断を回避できた

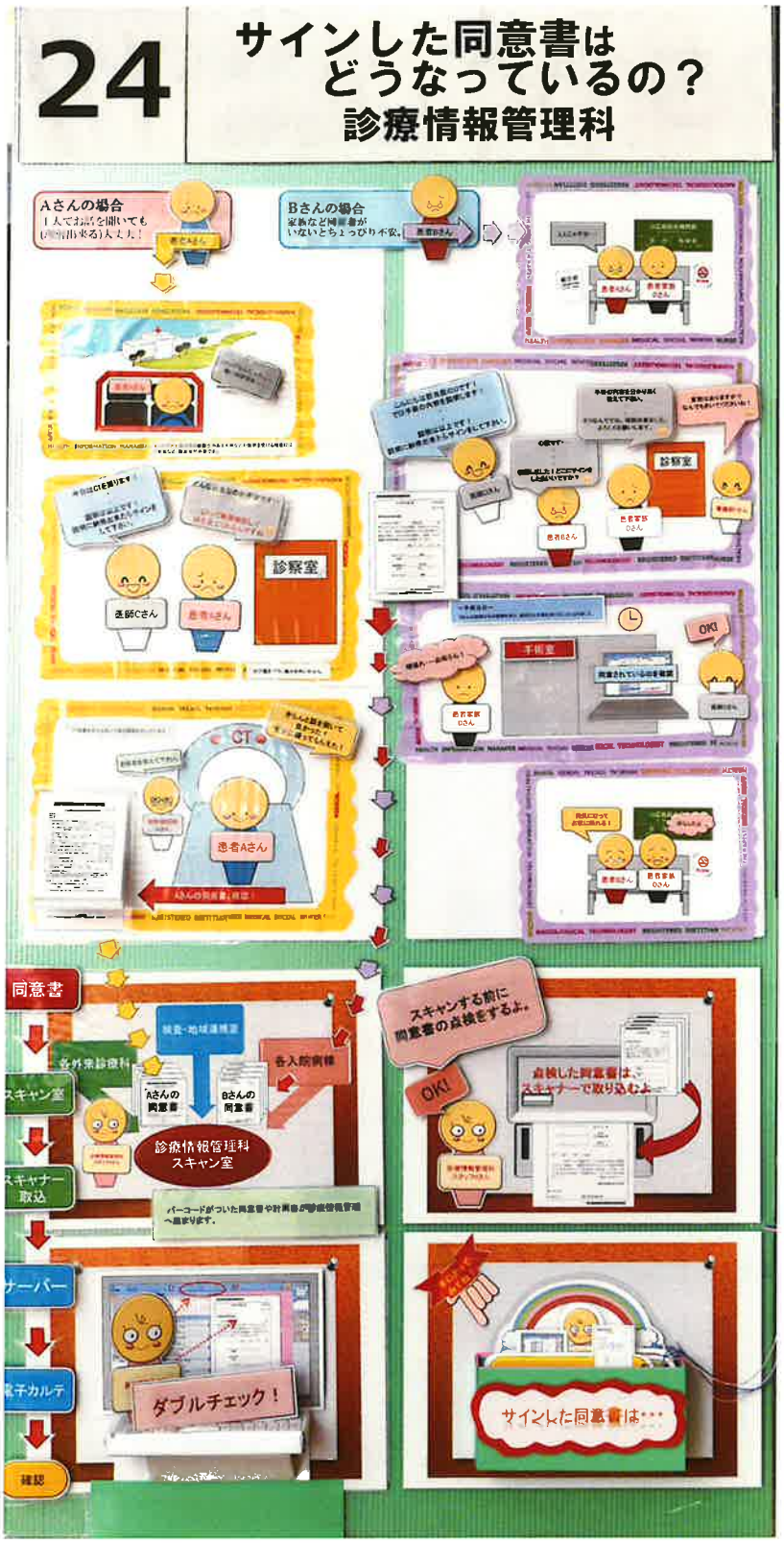
今後の課題

- 症例数を重ね、さらに遠隔期までフォローすることで、より多くの患者さんの下肢を救済していきたいと思っております。

日常診察中、夜間の作成となってしまい苦労しました。PADに関するもっとわかりやすいものを作成したかったが、時間もなくなりかなり専門的な内容となってしまったことが反省点です。

サインした同意書はどうなっているの？

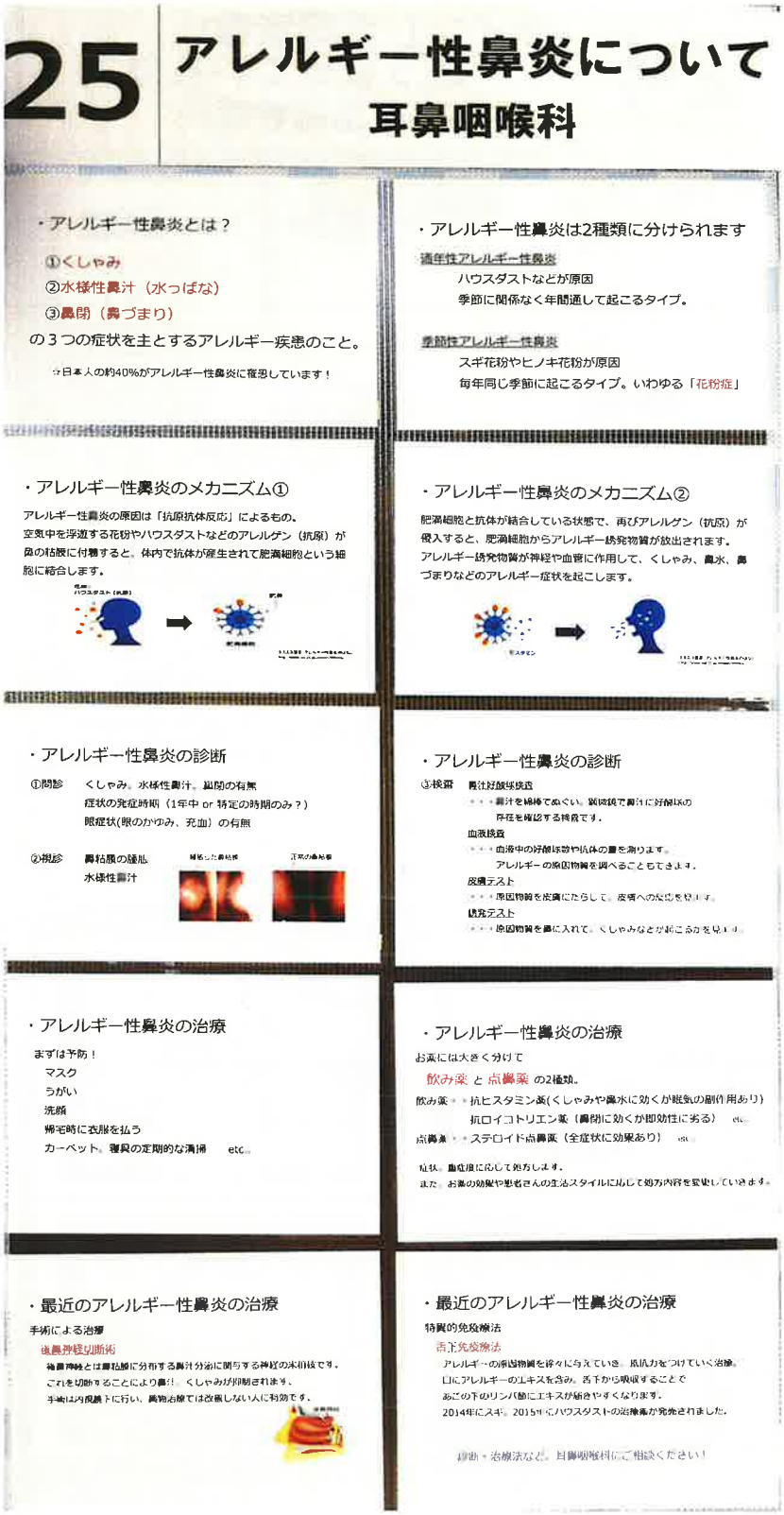
診療情報管理科



受診から同意書の電子カルテ保管までの流れとＩＣの重要性を知ってもらうため、分かり易い言葉になるように工夫しました。オリジナルキャラクターの作成や、配色・配置など部署内で知恵を絞りながら楽しんで取組みました。

アレルギー性鼻炎について

耳鼻咽喉科



アレルギー性鼻炎というなじみのある病気をテーマに選びました。苦労した点は難しい単語を入れずにどう解説するかという点です。他の作品に比べ読みづらい点があったかとは思いますが、参考にして頂ければ幸いです。

足から元気になりましょう　～靴の選び方・はき方・歩き方～

糖尿病センター・糖尿病療養相談室

糖尿病患者さんは年間約１万人以上が足切断に至っています。足病変（足の病気）の原因の１位は「靴ずれ」です。足に合った靴を正しく履き、適度な運動を継続して、高齢になっても自分の足で元気に過ごせることを願って作成しました。

がん相談支援センター

27 おしゃべりサロン
がん相談支援センター

おしゃべりサロン

がん患者さん、家族、友人の皆様が
病気や生活など気になること、
相談したいことなんでも話せる場です。
気軽にご参加下さい。

毎月2回開催しています
第2 月曜日…参加者同士の交流会
第4 月曜日…ミニレクチャー＆交流会

参加者で、合い言葉を考えました

**「あなたのそばに
がんサロン。。。」**

協力支援者
医師・認定看護師・医療ソーシャルワーカー
看護師・薬剤師・管理栄養士・傾聴ボランティア

がん相談支援センターとは

がん診療連携拠点病院に設置されている
がんに関する相談窓口です。
どなたでも無料で相談ができます。

よくある相談

がんの治療や検査・緩和ケア・心のこと
医療者とのコミュニケーション・仕事について
経済的負担と支援・セカンドオピニオン　などなど

毎月２回(第２･第４月曜日)開催しているおしゃべりサロンをしっかりアピールしました。テーマは「和モダン」です。残念ながら受賞はできませんでしたが、サロンでの盛り上がりは最高潮です!!

手術室で行われる鏡視下手術について

手術室

腹腔鏡の手術に対する認知度は増している様に感じますが、では実際にどのようにしてお腹の中を見ているのか、どんな道具で、どんな風に手術をしているのか興味があるのではないかと感じ、今回ポスターを作成しました。

脂肪肝が語るアンチエイジング対策

消化器内科

兵庫先生が当院に赴任されてから、脂肪肝に対して積極的に精査加療を加えるようになりました。脂肪肝を早期に発見、治療する事で様々な生活習慣病のリスクが減らせる事をアピールしたくポスター作成致しました。

減災への道 PartⅣ －ミッション完了！DMAT&災害対策ワーキングチーム－

チーム活動部門優秀賞

災害対策ワーキングチーム

30

減災への道　PartⅣ
－ ミッション完了！DMAT & 災害対策ワーキングチーム －
災害対策ワーキングチーム

MISSION完了!!災害対策ワーキングチームは、これからもずっと続く減災への道を走り続けます!!

集団災害医療救護訓練2016
in西医療センター

平成28年熊本地震では、地震発生後、速やかに院内災害対策本部を立ち上げ、災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣しました。派遣されたDMATは菊池市、玉名市、益城町などで救護活動を行いました。

平成28年熊本地震

オバマ来日
テロ対策

サミット外相会合にかかる対応手順を作成し、突発的なテロの発生にDMATの派遣や、多数傷病者の受け入れ準備を行いました。

八本松トンネル内
事故

死者２名、負傷者71名のこのトンネル事故にDMATを派遣しました。また、救命救急センターは多数傷病者受け入れの準備を行いました。

アクションカード作成

アクションカードは、災害時や緊急時の初期対応が具体的かつシンプルに書かれている小さなカードです。
その人の役割ごとに作成されていますので、災害時はこのカードを見ながら行動します。

DMAT

DMATとは「災害急性期に活動できる機動性をもった医療チーム」で、災害・事故現場（局地災害）および被災地域にいち早く出動し、災害の超急性期から医療を提供する医療チームです。

災害対策ワーキングチームは、当院が災害拠点病院としての役割を果たすため、設置された多職種で構成されたチームです。院内にとどまらず、地域の中で防災・減災活動を推進しています。

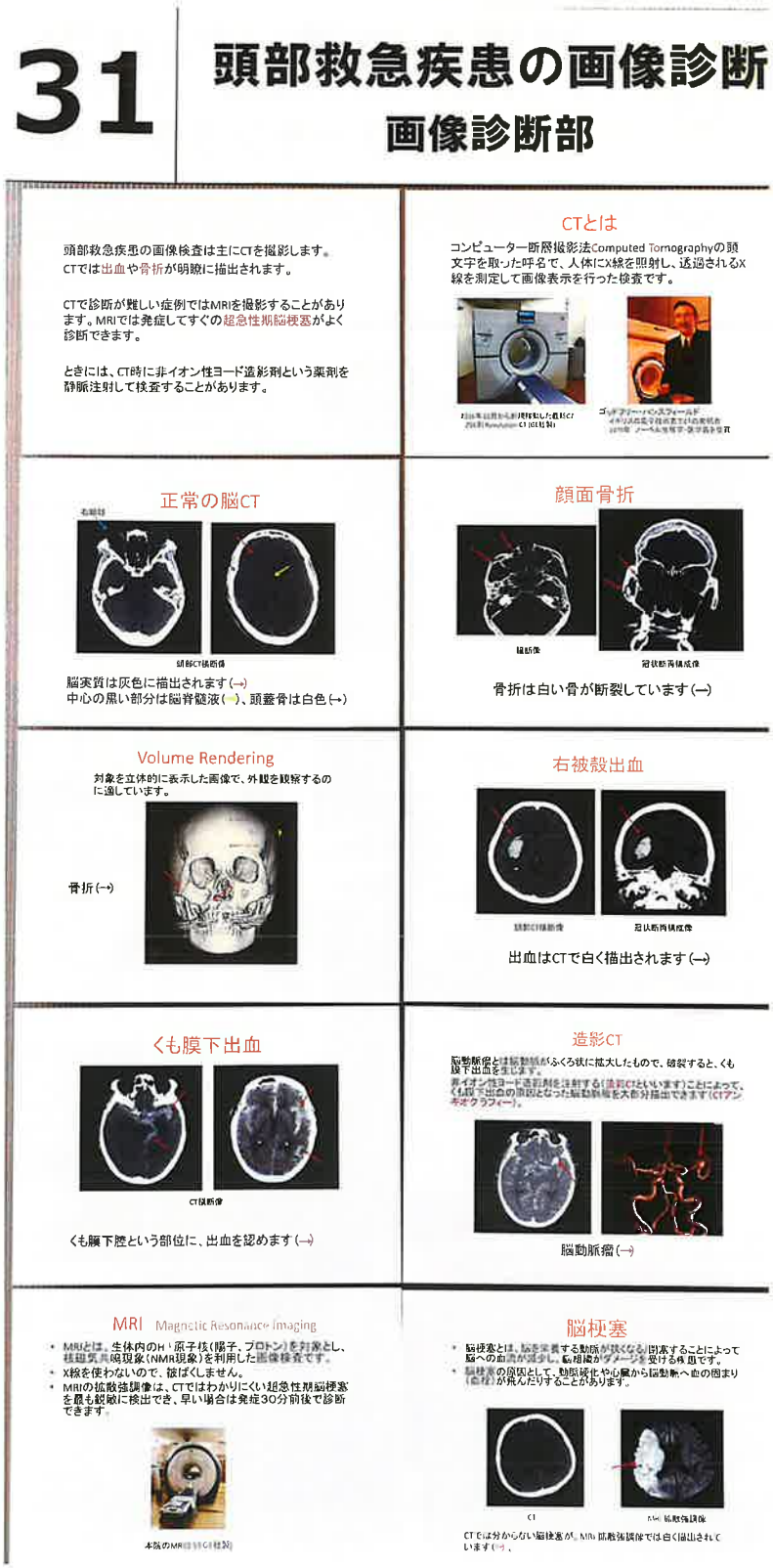
オープンホスピタルでの活動

オープンホスピタルでは、AED体験コーナー・DMATコーナー・災害支援ナースコーナー・防災グッズ展示・ハザードマップ展示・防災携帯ポケットティッシュ配布などを行っています。

災害はいつ発生するかわかりません。市民に啓蒙をするだけでなく、我々チームも常に備えて知識や物品を Up date しておくことが必要です。

頭部救急疾患の画像診断

画像診断部



頭蓋内出血や骨折の診断にはＣＴが有用なこと、ＣＴで診断が難しい超急性期脳梗塞の診断はMRIが有用なこと、脳動脈瘤の診断にはヨード造影剤を静脈注射するＣＴアンギオグラフィーが有用である点などを展示した。

CGM（連続皮下グルコース測定）で糖尿病治療が変わる

糖尿病代謝内科 糖尿病センター

CGMによってインスリンのみならず経口薬の治療においても主治医、患者さん本人に納得のうえ処方を行うことができます。今回そのメリットを伝えることができればと考え、ポスターを製作することにしました。

MRIのふしぎ

放射線科

33

MRIのふしぎ

放射線科

MRI(磁気共鳴画像)検査とはどういうものですか??

MRI検査ではまず大きな磁石の中に入ります。そして電波を当てることによって体内の水分と脂肪から信号が出てきます。
その信号を画像にする検査です。
得られた画像から、病気の形、成分など多くの情報を知ることができます。

MRIでは、以下の2種類の画像を基調として種々の画像を多方向から撮ることにより、診断に使用しています。

・T1強調画像：脂肪は白く見え、水や液性成分、磁性体の物質は黒く見えます(ただし、T2強調度の高いドロッとした液体は白く見えます)。
・T2強調画像：脂肪は白く見え、水や液性成分も白く見えます。磁性体の物質は黒く見えます。

それぞれの画像でどのように見えるかを組み合わせて、病気の有無や成分などを調べていきます。
様々な病気を見つけることができるMRIとはどんな装置なのか、身近な食べ物を使って紹介します。

果物や野菜、MRIではこんなふうに見えます！ 画像からどんなものか想像してみて下さい!!

※撮影した野菜、果物はスタッフでおいしくいただきました。

実際のMRI検査では、次のようにT1強調画像とT2強調画像をセットにして、診断に用いています。

病気(腫瘍)の成分を知ることができます！

骨折の発症時期を推定することができます！

このようにMRIは画像診断の重要な役割を担っています!!

いかがでしたか?! 同一の物質から異なる画像が得られるMRI検査。
このふしぎな特徴を利用して、病気の形や成分、さらには発症時期まで知ることのできる
非常に便利な検査です!!
私たち診療放射線技師は、医師・看護師・受付等他職種と連携し、MRIを駆使して
画像診断の手助けをしています。

MRIの撮像は非常に時間がかかり、果物や野菜の断面と撮像断面を合わせるのに苦労しました。
MRIで得られる情報量の多さや便利さを皆様に知っていただけると幸いです。

ＩＣＵでのせん妄とは

ＩＣＵ病棟

ICUは特殊な環境であり、どのような場所かイメージがつかない人が多いかと思います。今回のポスターを通して、患者さんの状態やご家族の希望に合わせた環境作りを行っていることが伝われば嬉しいです。

口腔癌における形成外科との協同治療

歯科口腔外科・形成外科

口腔内の機能（食べる・しゃべる）を改善するため、がんの手術がどの様に行われているか？写真を取り入れて紹介し、がんの早期発見への受診の啓蒙となればと思い、作成しました。

大切な足を守ろう

東7階病棟

患者さんの足を写真で撮らせて頂いたり、看護師同士で意見を出し合い、協力してポスターを作成することが出来ました。患者さんへのフットケアや観察する際に生かしていきたいです。

ご存知ですか？メタボ健診（特定健診）・特定保健指導

健康管理センター

保健活動の一環である特定保健指導について、多くの方に知っていただきたいと考えテーマを選択しました。主人公が保健師の励ましにより、脱メタボまで進んでいく様子をすごろく形式で表現しました。

パープルリボンってなあに？

膵がん教室運営チーム（消化器内科）

リボン活動について皆さまの御理解が得られましたでしょうか？パープルリボンについても理解していただき、御協力いただきたいと思います。

小児科あるある探検隊！

医局部門
優秀賞

小児科

小児科スタッフ渾身の作です。日頃よくあること、困ってしまうことについてポスターにしました。日常のケアをきちんと行うことで劇的に変わりますので、ぜひ実践して役立ててもらえばうれしいです。

20歳(はたち)から守っていこう　命と子宮

産婦人科

子宮頸がん検診の大切さを伝えたくて作成しました。婦人科はなかなか受診しにくい科だと思いますが、癌の早期発見を含め、一人でも多くのひとに心身ともに元気な女性でいてもらえるように、という願いも込めました。

「患者入院センター」ってどんなとこ？

患者入院センター

41

「患者入院センター」
ってどんなとこ？
患者入院センター

号外　JA広島総合病院新聞

患者センターが4月より開設

患者センターは、検査・治療を受けるため入院される患者さんが、これから送られる入院生活の不安を少しでも軽くしていただけるように、入院前に細かく説明をさせていただく部署です。入院についての理解を深めていただき、抱えておられる不安を少しでも軽くするお手伝いをさせていただく目的で開設されました。

まず、入院や検査など治療方針が決まったら…

検査・内科的治療を受けられる患者さん

2階　内科横にある、内科入院説明カウンターへご案内します

手術・外科的治療を受けられる患者さん

現在は、各診療科で説明をしています。今後、説明カウンターが開設される予定です。

入院されるに当たってご心配なこと、不明なことがあれば、是非お尋ねください。

退院後の生活について

退院後の療養生活で不安な点など、専門職と話し合い解決を目指します。

夜間緊急入院時

夜間の入院も、お話をうかがい、説明をさせていただきます。

今年度より患者センターが開設され、まず患者センターがどのような部署なのかを、患者さんだけでなく、スタッフの方々にも知っていただくことを目的に作成しました。

神ってる？総合医療相談室！

総合医療相談室

医療福祉支援センター内にある、総合医療相談室をご存知ですか？患者さんやご家族と病気のことや生活のことを一緒に考える相談員がいますので、お気軽にお声かけください。

心臓カテーテル検査と治療ってなんだろう??

東3階病棟

心臓カテーテル検査といっても、患者さんはイメージが出来ない方がほとんどのため、カテーテル検査の目的から具体的な内容、注意点やリスクまでを図解を用いてポスターにしました。

知っておきたい！知らないで損する介護保険制度

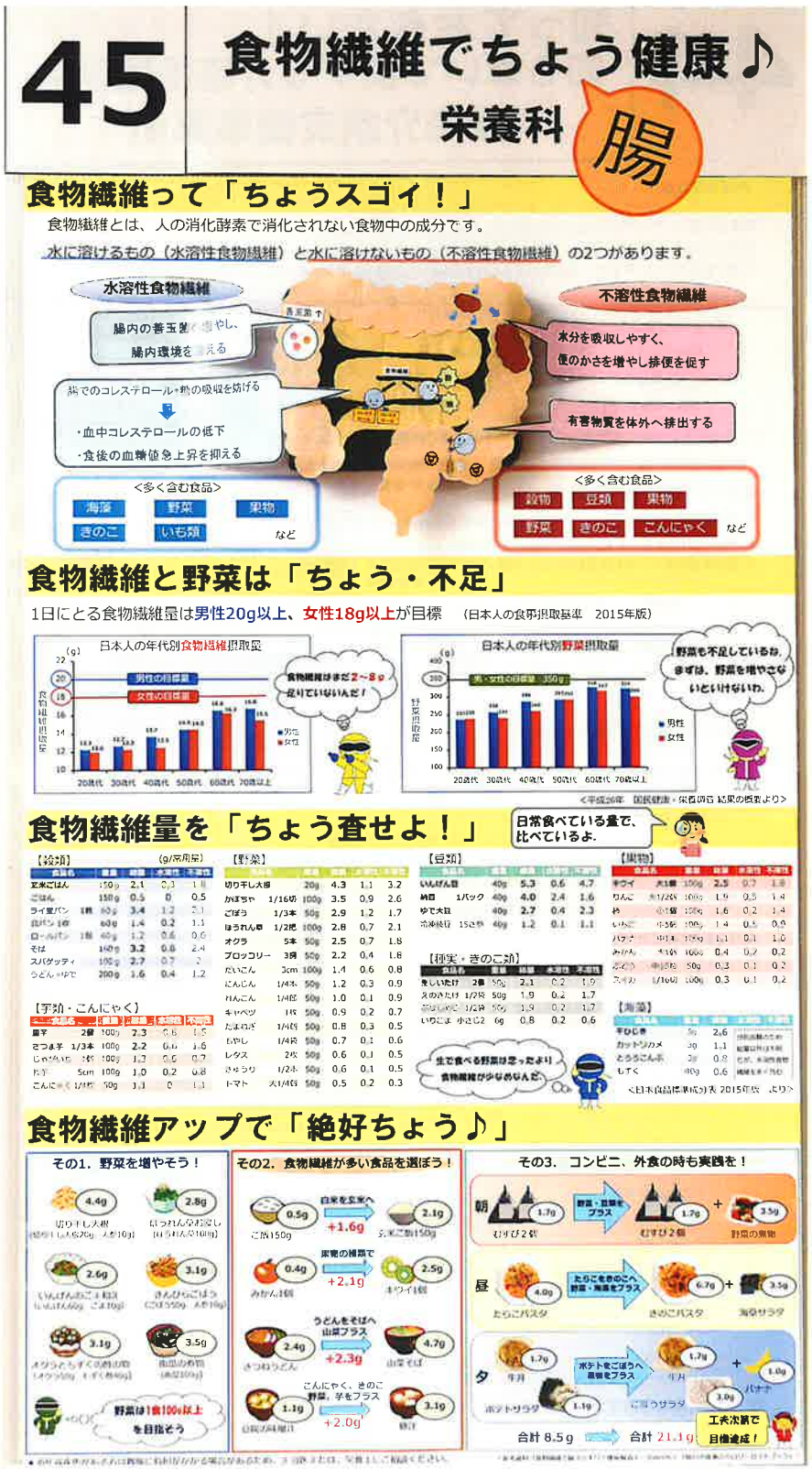
居宅介護支援事業所

地域包括ケア、他職種連携の視点から、ケアマネジャーの業務、介護保険制度について知って頂きたいと思いポスター作成しました。ラッキー賞を頂き、感激でした。

食物繊維でちょう健康♪

コメディカル部門 優秀賞

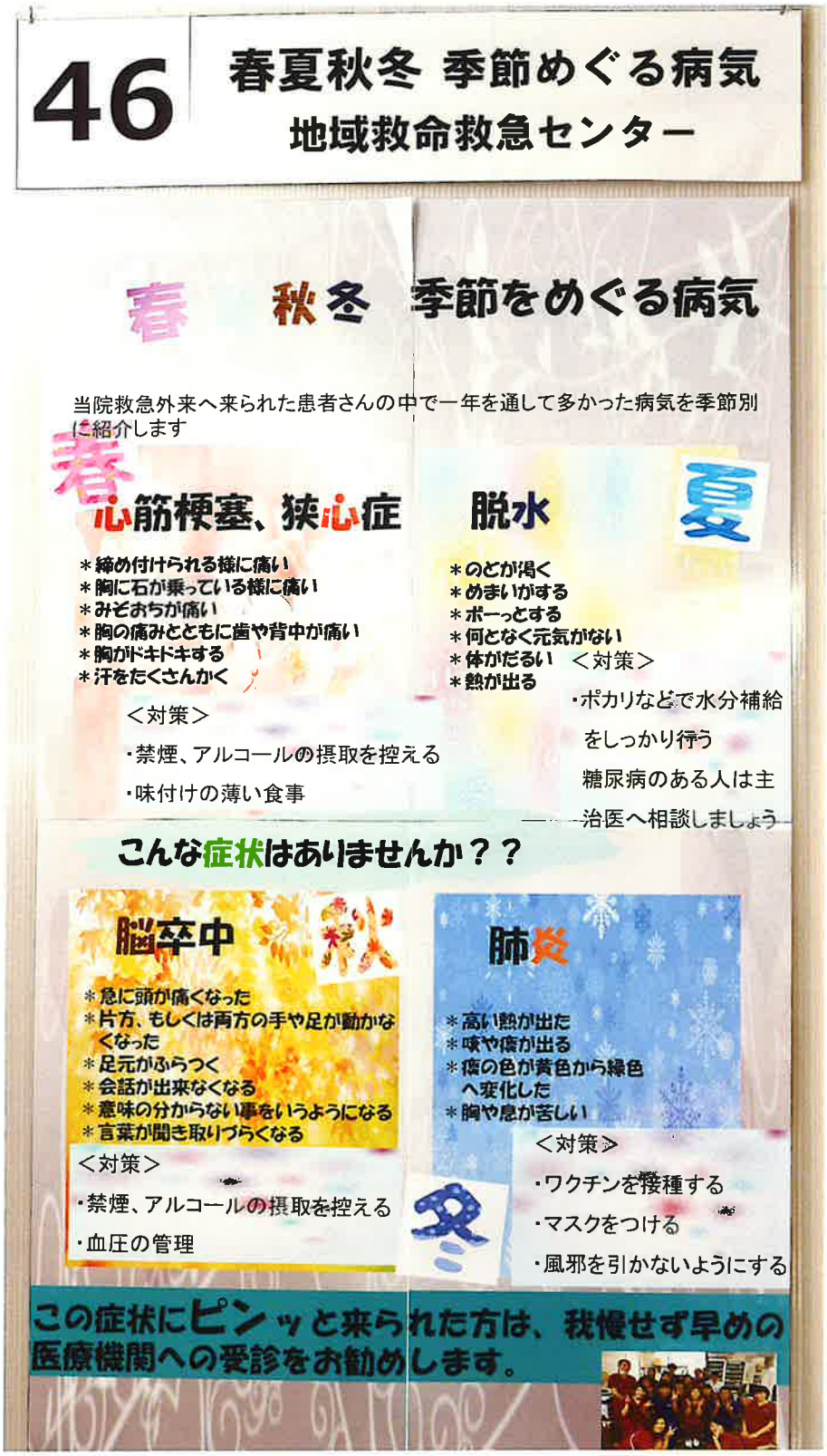
栄養科



今年で６年連続受賞となりました。プレッシャーの中、私達も頑張りましたが、患者さん、市民の皆さんの食への関心の高さがうかがえると思います。今後も「食の大切さ」が伝えられるように努力していきます。

春夏秋冬　季節めぐる病気

地域救命救急センター



救急での季節に特有の疾患を記載し、予防方法も記載したことで患者や家族への啓発につながったと感じました。

臨床工学技士の１日

臨床工学科

臨床工学技士がどんな仕事をしているかという事と、一日の業務の流れを一般の人だけでなく、院内のスタッフの方々にも知って頂きたくてこのような形のポスターを作らさせて頂きました。

こんにちは！厚生連広島訪問看護ステーションです。

訪問看護ステーション

訪問看護がどんなことをしているのかまだまだ知られていないと思ったので、一日の流れとどんなことをしているのかをポスターにしてみました。

帯状疱疹とは

東6階病棟

49 帯状疱疹とは 東６階病棟

1、帯状疱疹（たいじょうほうしん）とは

【水痘（水ぼうそう）を経験した方なら、誰でもなる可能性があります】
からだの左右どちらか一方に、ピリピリと刺す様な痛みと発疹（赤いブツブツ）や水疱（水ぶくれ）が帯状に出来る病気です。

①水痘帯状疱疹ウイルスに初めて感染した場合は水痘として発症します。
②ウイルスは体の神経節に潜んで休んでいます。
③免疫力が低下した時に再び活動し始め、帯状疱疹として発症します。

2、症状

【こんな症状ありませんか？】
（1）痛みが出現する
→最初はチクチク、ピリピリする部分に軽度の発赤が見られる程度ではっきりとした症状はありません。

（2）数日後に発疹が出る
→数日経過すると発疹や水疱が出はじめ、痛みはだんだん強くなっていきます。

（3）帯状の湿疹となる
→痛みのある範囲に発疹や水疱が帯状に出てきます。ただれや潰瘍が出来ることも多く、痛みも激しくなります。

☆ポイント【発疹はすぐには現れない】
患者A「最初は頭が痛かったから脳外科を受診した」
患者B「痛みが出て2～3日後に発疹が出始めた」
※発疹が現れる数日前に、痛みを感じることがあるため、初めに内科や脳外科を受診される方もいます。

3、注意点

（1）皮膚が良くなっても、痛みが続くことがある
→ウイルスが再活動した時に、神経を傷つけながら帯状疱疹として出現します。そのため、薬で治療しても、傷ついた神経は残ります。これを帯状疱疹後神経痛と言い、数年以上痛みが残る方もいます。

（2）傷跡が残ることがある
→症状が出始めて約1週間は症状が強く出ます。その後、約2週間でかさぶたが出来て、約3週間で治りますが、傷跡が残ることがあります。

このような症状が出たら皮膚科を早期受診しましょう。

このテーマを選んだのは、入院患者に疾患名を問うと、初めて聞いたという人が多く、認知度が低いのではと思ったのがきっかけです。疾患の概要と初期症状を知ってもらい、早期受診につながるように作成しました。

腎臓を守ろう!!「腎臓病教育入院って何?!」

東8階病棟

腎臓リハビリテーションを取り入れた腎臓病教育入院を行っており、それを伝えたかったです。知ってもらいたいことが多くある中、内容を絞りつつどうすれば腎臓病教育入院のイメージを膨らませてもらえるか悩みました。

研修医の可能性∞無限大じゃろ！

臨床研修科

意外と知らない、研修医が普段頑張っている仕事内容や、勉強している様子を伝えたいと思い作成しました。まだまだ未熟者ですが、日々最新の治療を学ぶため努力しています。今後ともご支援お願い致します。

JA広島総合病院オープンホスピタル

徳毛副院長あいさつ

フラダンス披露

内視鏡シュミレーター

医療相談コーナー

アンパンマン来院

もちつき大会

編　集　後　記

「今年のカープと同じで神ってる！」

「このポスター、最高で～す。」

・・・平成28年11月から年末まで開催された、第７回ＪＡ広島総合病院ふれあいポスター展で、臨床研究検査科のポスターや内視鏡センターのポスターを見て思わずつぶやいた当院副院長の言葉です!?

今回で７回目となるＪＡ広島総合病院ふれあいポスター展はもう病院の定例行事として定着しています。これらのポスターは、各部署が自分たちの仕事に誇りを持って、住民の皆様にわかりやすくさまざまなテーマで作成したものです。病院ではさまざまな地域との連携を深めるための試みをしていますが、このポスター展はその大きな柱のひとつとなっています。近年減少傾向であったポスターの参加数が今回一挙に増えました。これではいけないと、病院内の各部署職員に働きかけて再度この企画を盛り上げようとした結果です。職員の皆さんの力を、このポスター展示で示していただき心強く思いました。これらポスターは厳正に審査されました。各賞の採点基準は厳格に規定されており、多数の審査員と住民の方々の投票で各賞が確定しました。最優秀賞となった臨床研究検査科はもう常連です。医局部門優秀賞の小児科は初受賞となりました。看護部門優秀賞の内視鏡センターは、住民投票部門優秀賞も獲得しダブル受賞となりました。これは昨年のコメディカル部門優秀賞と住民投票部門優秀賞のダブル受賞となった薬剤部に続く快挙です。

平成28年11月23日には第７回ＪＡ広島総合病院オープンホスピタルが開催されました。オープンホスピタルとふれあいポスター展は連動した行事で、ＪＡ広島総合病院が地域に根ざしたこの地域の住民のためにと開催してきた行事です。イベントも盛りだくさんで、オープニングセレモニーに続いての地元のフラダンス教室の皆さんによるフラダンスが豪華に舞われ、まさにワイキキビーチのさわやかさを届けていただいたようでした。引き続いて地御前町内会の皆さんのご協力で餅つき大会が行われ、ほかほかのお餅が皆様にふるまわれました。他にも病院内のあちこちが賑わっていました。医療相談コーナー、健康診断コーナー、骨密度測定、佐伯中央農協の農産物即売会、ポップコーンコーナーなどなど盛りだくさんです。体験型のイベントもあり、AED体験、内視鏡センターでの胃内視鏡シミュレーター体験も好評でした。小さなお子様が楽しめるバルーンアートコーナーなども活気を帯びていました。また、市民公開講座「膵がんのはなし」にも多くの方が参加され、講演後には多数の質問がありました。

今回のオープンホスピタルに院内外からご参加いただき、それぞれのイベントを盛り上げてくださいました全ての皆様に心より感謝いたします。また、当日のラジオ生中継をしていただいたFMはつかいちにも感謝申し上げます。また、このイベントに計画段階から当日の準備・撤収まで多くの方々の熱意と献身があったことを忘れるわけにはいきません。事務局はもとより、アカデミック委員会、地域医療連携室、看護科、栄養科、健康管理課、臨床検査科、薬剤部、放射線科、救命救急センター、内視鏡センターの皆さん、健康相談にご協力いただいた先生方に感謝とねぎらいを申し上げます。

最後に、当日の一般来場者の皆さんからのアンケート結果では、当院への感謝の言葉とこのイベントを続けてほしいとの要望が大多数であったことに意を強くして次回に向かっていきたいと思います。

アカデミック委員会
委員長　徳 毛 宏 則

第7回　ふれあいポスター展

発行年月日　平成29年3月

編　　集　広島県厚生農業協同組合連合会廣島総合病院
アカデミック委員会

発　　行　広島県厚生農業協同組合連合会廣島総合病院
〒738-8503　広島県廿日市市地御前1丁目3番3号
電　話　0829-36-3111